

ボッチャ日本一へ
豊田で67人が熱戦
きょう決勝トーナメント
ボッチャの第27回日本選手権大会が17日、豊田市八幡町のスカイホール豊田で開幕した。初日は予選グループがあり、パラリンピックのメダリストら全国の実力者67人が熱戦を繰り広げた。18日は決勝トーナメント

トがあり、勝ち上がった男女28人が出場する。入場無料。
性別、障害の程度で8部門に分かれて実施。滑り台のような「ランプ」(勾配具)を用い、アシスタントの支援を受けながら投球する選手の姿もあった。
地区予選を勝ち抜いてBC3部門に出場した黒木幸雄選手(日本福祉大)を応援しよう。同級生の同大4年木村光汰さん(22)が



熱戦を繰り広げる選手たち＝豊田市八幡町のスカイホール豊田で

仲間と駆けつけ、「相手が強いけど、楽しむことを忘れず、頑張っしてほしい」と手作りうちわを手に、声援を送った。投球が好位置に決まると、黒木選手は「シャー」と声を張り上げ、木村さんたちは「ナイス」と拍手で後押しした。

主催する一般社団法人日本ボッチャ協会は、競技の普及振興を図る「ボッチャパーク」を開設。家族連れらがボッチャの体験や、小原和紙を包んでボッチャと同じ大きさのボールを作る工作、指でコマをはじいてボッチャのように遊ぶゲームなどを楽しんだ。